



保護者さんへ

小学生発達療育グループ活動

小学生の年代は気の合う仲間を見つけることにより、その後の思春期からの自分探しに向けて、友達との付き合い方を学びながら成長する時期です。

しかし、発達特性のあるお子さんは集団行動やコミュニケーションが苦手なため、友達とのトラブルが生じやすかったり、自信をなくしてしまうことが多くあります。

そのため、好きなことや得意なことを認めてくれる大人や仲間との体験を通じて、自信を持つことが大切です。気の合う仲間を学校以外の場で得ておくことにより、学校の友達とうまくいかない時でも、グループ体験により「ぼくには(わたしには)あそこに友達がいるんだ」という励ましになることでしょう。また、集団生活の苦手なお子さんにはちょっとした社会生活技能訓練(SST)をすることで、自分でやってみようという意欲や自信にもつながります。

さらに、発達特性のあるお子さんはその特性と環境とのアンバランスさにより、二次障害と言われる症状を呈してしまうことがあります。そのため、親や周りの大人がお子さんの特徴に応じた関わり方のコツやヒントを学び、子育ての見通しを持つことが大切です。

今回は、お子さんを対象とした小学生発達療育グループと保護者を対象とした情報交換会を開催します。

- 日 時 (全3回、各回水曜日の午後3:30~5:00)
令和4年10月19日(水)
令和4年11月 9日(水)
令和4年12月 7日(水)
 - 場 所 富士ふれあいセンター
(富士河口湖町船津6663-1)
 - 講 師 小田切雄太氏(子育て・発達の里こころのサポートセンター ネットやまなし 児童発達支援管理責任者)
 - 対象者 富士ふれあいセンターまたは関係機関で相談を利用されている小学生及びその保護者
 - その他 参加費は無料です。
 - 申込み 10月14日(金)までに申込書に記入の上、お申し込み下さい。
- 